

## 代表派遣会議出席報告（HP掲載用）

日付 平成 27 年 10 月 16 日

執筆者氏名 犬伏和之（IUSS 分科会委員）

（千葉大学大学院園芸学研究科 教授）

### 1 会議概要

#### 1) 名称

（和文） 国際土壌科学連合会議<sup>1</sup>および  
国際環境生物地球化学会議（国際土壌科学連合サテライト会議）<sup>2</sup>

（英文） International Union of Soil Science Conference (IUSS)<sup>1</sup>,  
International Symposium on Environmental Biogeochemistry (ISEB)<sup>2</sup>

2) 会 期 平成 27 年 9 月 23 日 から 平成 27 年 10 月 2 日まで（10 日間）

3) 会議出席者名 犬伏和之

4) 会議開催地 ドイツ国 キール市<sup>1</sup> スロベニア国 ピラン市<sup>2</sup>

5) 参加状況（参加国数、参加者数、日本人参加者）

IUSS：参加国数 21 か国、約 100 名（うち日本人 5 名）

ISEB：参加国数 23 か国、約 100 名（うち日本人 7 名）

日本人参加者：小崎 隆、犬伏和之、波多野隆介、藤原 徹ほか

6) 会議内容(HP 掲載を有効にするため、まずは概要、要点をお書きください)

・ IUSS：平成 27 年 9 月 23 日 から 平成 27 年 9 月 26 日まで

主な議題：国際土壌年の意義と経緯、各国での取り組み状況、ICUS やドイツ科学技術会議など関係学術団体の動向と連携、持続的発展と土壌科学の関係など、今後の展開方針が説明された。閉会式後の臨時執行委員会で Horn 会長、Freeman 規約委員長、小崎 Division 3 chair と犬伏 Division 2 chair が集まり、学術賞の選考規程や選考委員、新 commission の提案への

対応など意見交換し、次週のSkype会議で他の役員と議論することとした。

・ ISEB：平成27年9月27日 から 平成27年10月2日まで

主な議題：国際土壌年に連携した土壌環境問題への取り組み（重金属汚染土壌の修復、塩類土壌中の特殊微生物の生態など）が重要研究テーマであることが確認された。次回会議開催地としてオーストラリアを承認。

次回開催予定 IUSSは2015年12月、ISEBは2017年



写真1 IUSS 会議、開会式



写真2 IUSS 現地検討会